

# おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 2 号 (4 月 11 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 今季初戦 Y1 第一節に勝利

4 月 9 日 (土) 天童のべにばなスポーツパーク第二運動広場 (人工芝) にて、今季公式戦初戦となる Y1 (県リーグ 1 部) 第一節が行われました。小雨が降る午前を経て、午後は雨が上がったものの、どんよりとした曇りの天気。「土 (クレーコートでの試合) でなくて良かったね～」と本部席では口々に言い合う。そういえば去年は 4 月中旬に予定されていた第一節が、季節外れの降雪により延期になったのだっけ。今年はさすがに雪は降っていないものの、まだ本格的な春は山形に来ていないのだと感じさせる。このたびの冬は降雪量が多かったため、置賜地区や最北地区はまだ雪が残っており、そういった地区にとって 4 月前半のシーズン開幕は早すぎると言ったところか。ともかく、いよいよ今季が開幕いたしました。

第一試合は、今季から Y1 の前半に参加する「U16 県トレセンチーム (以下県トレ)」<sup>1</sup> と山形中央の試合。プリンスリーグ東北 (東北リーグ) から県リーグに降格したものの、山形中央は強豪校。とはいえ、県トレは選抜チームであり、もしかしたら良い勝負するのではと思います、(山東の試合が 15:30 からと遅いにもかかわらず) 9:30 の第一試合に駆け付けました。結果は・・・4 - 0 で山形中央の圧勝。選抜チーム相手にしっかりと横綱相撲が取れる山形中央が充実していたことはもちろんですが、県トレは正直まだ中学生だなとの印象。一言で言うと、うまいが弱い。県トレはこれから試合を重ねるごとに良くなっていくのでしょうか。ちなみに県トレにとっての最終戦は、7 月 9 日 (土) Y1 第 9 節の山東戦です。その頃にはチームが成熟し、山東相手に横綱相撲をするようになるかもしれません。山東が、県トレに弾みをつけてミニ国体に送り出す役回りになるのではないかと今から内心ビクついています。

それはそうと、第二試合は東海大山形と山形商業の対戦。東海は 2 年生に逸材が多く、黄金期を迎えつつある (と今野が勝手に思っている) チーム。山東との練習試合でも、完全に格上であることを内容的に示しています。対する山商は、Y2 から昇格したチームでありながら、威風堂々たるチーム。そもそも一昨年の 2 部への降格がおかしかったのです。要するに 1 部にいなければいけないチーム。個人的には、昇格年にして優勝争いに食い込むのでは、と感じています。そんな好チーム同士の対戦だけに、サッカー関係者の観戦がひときわ多く感じました。試合内容は、前半東海が押し気味に試合を進め、後半は一進一退と言ったとこ

<sup>1</sup> 近年、U16 県トレセンはミニ国体 (国体の東北予選) で負け続け、国体に出場できずにいるため、国体に向けた強化の一環として、今季、県トレが Y1 (の前期) に加入することになりました。加入するものの、県トレとの対戦はリーグの成績に加味されません。ちなみに、サッカー競技の国体は伝統的に単独チームではなく県選抜によって大会が構成されています。以前は U18 の県選抜 (というか何歳であろうと高校生によって構成された県選抜) が国体で戦いましたが、しばらく前から、中学 3 年生と高校 1 年生という強化の谷間の時期 (受験でサッカーを引退? する中 3 と、まだ半人前のため所属チームで主力になりきれない高 1 の時期) の U16 の世代で、国体が戦われることになっております。

る。結局 1 - 1 のドローとなりました。両チームともアグレッシブな攻撃サッカーが持ち味ですが、力が拮抗しているためか、つぶし合いといった試合の印象を受けました。ともかく、第一節にして優勝決定戦のようなレベルの高い好ゲームでした。

第三試合は、鶴岡工業と新庄東との対戦。4月になり雪がようやく解けたばかりの鶴岡のチームと、まだまだ雪解けから遠い新庄のチームとの対戦は、両チームの調整の遅れを予想させました。実際試合を見てみると、やはり山形のチームよりも試合勘が戻っていないように感じました。しかし、そこは Y1 常連の両チーム。徐々に本来の力を発揮するようになるでしょう。結果は、引き分けを予想させる膠着状態のなか後半の最後の方でファインシュートを決めた鶴工の 1 - 0 の勝利となりました。

そして第四試合、山東と山形城北の対戦。昨年の山形城北は、名将渡辺和俊先生<sup>2</sup>のコンセプトを選手がしっかりと体現する素晴らしいチームでしたが、今年はどうか。山東は、怪我人を抱えるものの、新入生の善貴を加え、アグレッシブな布陣（のつもり<sup>3</sup>）。昨年の県新人はカルが怪我で欠場、選手権は多田が怪我で欠場と、FW2 枚が揃いませんでしたが、ようやくカルと多田のツートップそろい踏み。城北は毎年、セットプレー（CK = コーナーキック、FK = フリーキック）を工夫して来るチームなだけに、そこを必ず注意するよう指示して選手をピッチに送り出しました。

試合が始まると、早々にロングボールから城北にチャンスを作らせてしまう。素早く DF ライン裏へのフィード、そして逆サイドへの揺さぶりを意識した攻めを繰り返す城北。対する山東 DF は、ロングボールの予測ができておらず、簡単に城北の選手を走らせてしまう。前半の前半はやや城北有利だったものの、徐々に山東もこれまたロングボール主体の攻撃から流れをつかみ始める。すると、右から左へと大きく動いてボールを引き寄せたゴメがドリブルシュート一閃！ 素晴らしい城北 GK も対応できない弾道のシュートは、ゴールバーを叩いて下に落ち、ゴール。山東先制。その後、ハーフタイム寸前のラストワンプレーというところのいや～な時間帯に与えた CK で城北にドンピシャで合わせられましたが、公式戦初先発の GK 坂口がスーパーセーブ。ハーフタイムに褒めたところ本人は事も無げでしたが、反応がとっても速く見えました。胸をなでおろして前半終了。後半、もう少しボールを落ち着かせて攻撃したかったのですが、パスカットされることを恐れる CDF がロングフィードを多用。常日頃パスミスに対して厳しく当たる顧問今野の指導に問題があるのでしょうか、トライすることを恐れているように感じました。攻撃では課題が残ったものの、セットプレー以外の守備は安定。最後は、攻守にわたってチームの心臓として機能したケンが、（善貴の鮮やかなワンタッチパスに始まった）ショートカウンターから落ちついて追加点を上げ、結局 2 - 0 で勝利。今季初戦を、無事勝利で飾ることができました。何より、これまで不調傾向にあった選手数名が軒並み好調に転じたように見えたのが、とてもうれしかったです。

試合後、保護者席にあいさつに訪れると、保護者の皆さまも、顧問同様、ホッとしたご様子。保護者の皆さまも共に闘って下さっているんだな～と実感。

次節、4月16日（土）Y1 第二節東海大山形戦（15:30～@天童人工芝）も乞うご期待です。応援よろしくお祈りします。

<sup>2</sup> 昨年の部報にも記しましたが、和俊先生はユーモアに富む話術がとても魅力の方で、地区顧問の中でも常に偉才を放っています。

<sup>3</sup> 山形東サッカーOB会 HP にあります城北戦の写真の中にある後藤報道局長のコメントに、「勝ちにきたな」とありましたが、私の中では「勝ちに行った」布陣じゃないんですけどね～、と一応反論させていただきます。